

沖縄県の道路



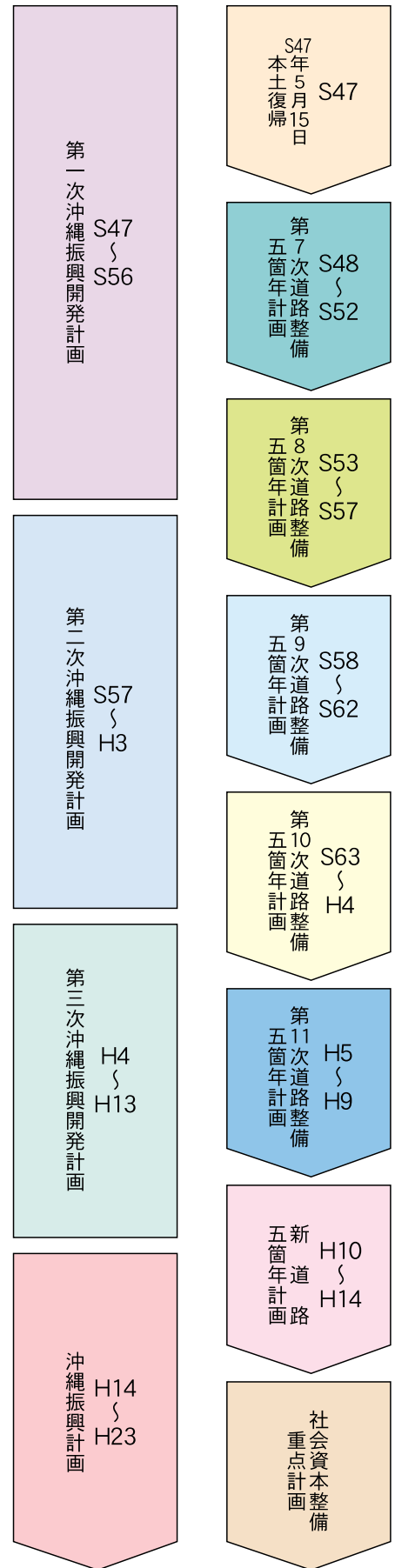
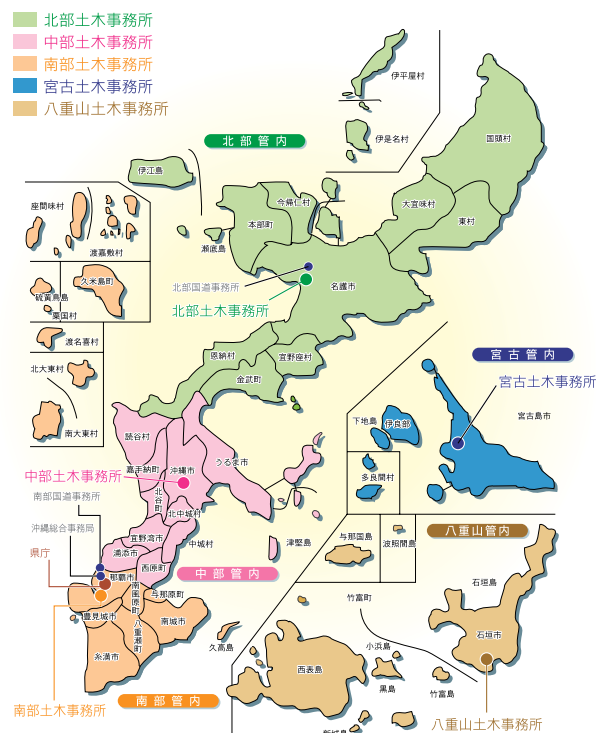
一般県道 具志川沖縄線(川田大橋)

2011

沖縄県の道路 ~美ら島・うまんちゅの道づくり~

CONTENTS

沖縄の概要	1
道路の現況	2
交通の状況	3
1.機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)	3
2.自動車保有台数	3
3.レンタカーの状況	3
4.交通量(平成17年度交通センサスより)	4
5.渋滞状況	5
道路の予算	6
道路の計画	8
道路の整備	13
1.高規格幹線道路	13
2.地域高規格道路	14
3.一般国道(指定区間)	16
4.一般国道(指定区間外)	18
5.主要地方道	20
6.一般県道	22
7.街路	26
8.交通安全・無電柱化・道路保全	32
9.道路の維持管理	34
10.市町村道	35
11.離島架橋	36
12.沖縄都市モノレール	36
資料	37



●表紙説明 / 一般県道 具志川沖繩線(川田大橋)

沖縄県は、我国の最南西端に位置し、東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域と、点在する49の有人島を含む160の島しょから構成される離島県であります。

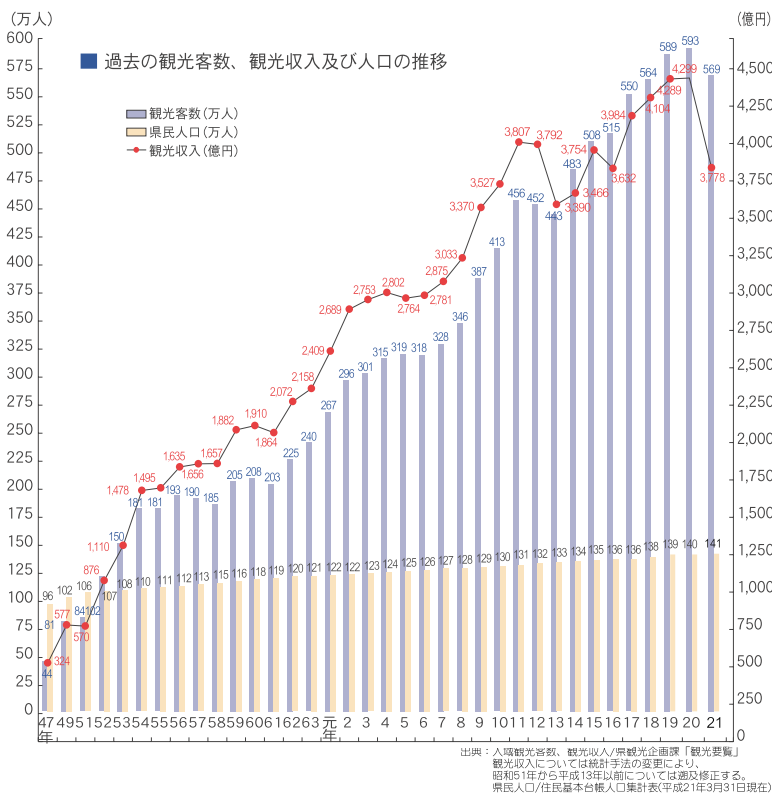
人口は昭和30年代から都心部を中心に急激に増加し、県土面積の約20%にあたる沖縄本島中南部に全人口の約82%が集中し、県土面積の約45%を占める離島の人口比率は約10%にすぎず、本島中南部における過密化と、離島へき地における過疎化が進んでいます。

本県は、日本では唯一の亜熱帯性気候と豊かな青い海、明るい太陽のもと、古くは、「琉球」という独立国家の形態をとりながら、南方諸国や中国等との交易を通じて栄え、他県では見られない独特の琉球文化を育んできましたが、1879

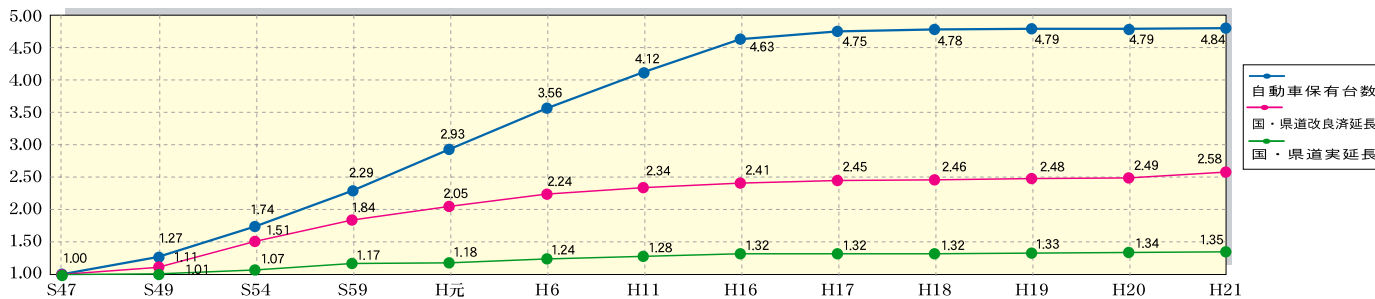
年(明治12年)の琉球処分により日本へ帰属し沖縄県が誕生しました。

第二次大戦後は米国の軍事基地としてその施政権下におかれ、1972年5月15日、本土復帰が実現し今日に至っています。

平成17年4月1日に、石川市、具志川市、与那城町、勝連町がうるま市、平成17年10月1日には平良市、城辺町、下地町、伊良部町、上野村が宮古島市、さらに平成18年1月1日に佐敷町、知念村、玉城村、大里村が南城市、同日に東風平町、具志頭村が八重瀬町へそれぞれ合併し、これによって県下自治体数は、11市11町19村(平成18年4月1日現在)となりました。



道路改良と自動車保有台数の伸び率比較



出典：1. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2009年6月号)」
 2. (改良延長、実延長)は、沖縄県土木建築部道路管理課「道路施設現況調査(平成21年4月1日現在)」

道路の現況

全国・沖縄 道路の普及率比較

道路統計年報(2010年版)平成21年4月1日現在

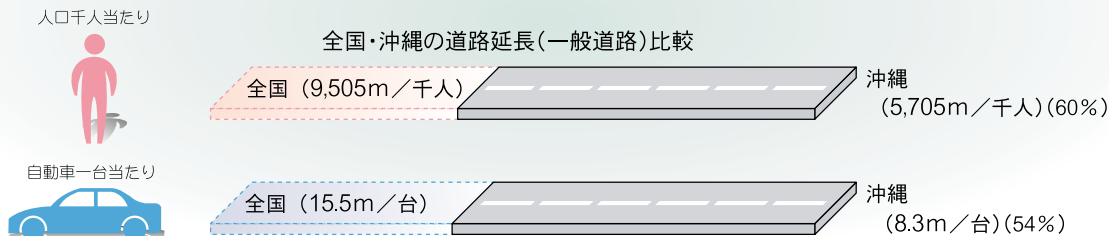
道路種別	全国 沖縄 県別	実延長 (A)		改良済延長 (B)		舗装済延長 (C)		人口千人当り		人口千人当り		車一台当り		車一台当り		面積km ² 当り		整備済延長 (B')		人口千人当り			
		km	%	km	%	km	%	m	%	m	%	m	%	m	%	m	%	km	%	m	%		
高速自動車国道	全国	7,641.8	100.0	7,641.8	100.0	7,641.8	100.0	60	100.0	60	100.0	97	100.0	0.097	100.0	0.097	100.0	20	100.0	-	-	60	100.0
	沖縄	57.3	0.75	57.3	0.75	57.3	0.75	41	68.2	41	68.2	60	61.6	0.060	61.6	0.060	61.6	25	124.5	-	-	41	68.2
一般国道(指定区間)	全国	22,873.9	100.0	22,870.3	99.9	22,578.2	98.7	180	100.0	178	99.0	290	100.0	0.290	100.0	0.287	99.0	61	100.0	13,229.9	57.8	180	100.0
	沖縄	309.3	1.35	309.3	1.35	309.3	1.35	221	122.9	221	124.5	323	111.1	0.323	111.1	0.323	112.6	136	224.5	159.3	51.5	221	122.9
一般国道(指定区間外)	全国	31,915.8	100.0	27,303.7	85.5	27,377.5	85.8	215	100.0	215	100.0	405	100.0	0.346	100.0	0.347	100.0	84	100.0	21,807.2	68.3	251	100.0
	沖縄	170.2	0.53	163.6	0.51	158.0	0.49	117	54.5	113	52.5	177	43.8	0.171	49.2	0.165	47.4	75	88.6	150.9	88.6	122	48.5
一般国道	全国	54,789.7	100.0	50,174.0	91.6	49,955.7	91.2	395	100.0	393	99.0	695	100.0	0.637	100.0	0.634	99.0	145	100.0	34,317.1	62.6	431	100.0
	沖縄	479.5	0.87	472.8	0.86	467.2	0.85	338	85.7	334	85.0	500	71.9	0.493	77.4	0.487	76.8	211	145.3	310.3	64.7	343	79.6
主要地方道	全国	57,877.0	100.0	44,541.5	77.0	41,828.4	72.3	351	100.0	329	93.7	734	100.0	0.565	100.0	0.531	93.0	153	100.0	35,515.9	61.3	455	100.0
	沖縄	406.6	0.70	386.4	0.67	382.3	0.66	276	78.9	273	83.1	424	57.7	0.403	71.3	0.399	75.1	179	116.7	296.4	72.8	291	63.9
一般都道府県道	全国	71,500.4	100.0	43,319.1	60.6	38,272.2	53.5	341	100.0	301	88.3	907	100.0	0.550	100.0	0.486	88.0	189	100.0	38,572.0	53.9	563	100.0
	沖縄	640.5	0.89	577.3	0.81	534.9	0.75	413	121.1	383	127.0	668	73.6	0.602	109.5	0.558	114.8	281	148.8	480.0	74.9	458	81.4
都道府県道計	全国	129,377.4	100.0	87,860.6	67.9	80,100.7	61.9	691	100.0	630	91.2	1,642	100.0	1.115	100.0	1.016	99.0	342	100.0	74,087.9	57.2	1,018	100.0
	沖縄	1,047.1	0.81	963.7	0.74	917.1	0.71	689	99.7	656	104.1	1,092	66.5	1.005	90.1	0.956	94.1	460	134.4	776.4	74.1	749	73.6
市町村道	全国	1,016,058.1	100.0	572,783.7	56.4	186,031.9	18.3	4,507	100.0	1,464	32.5	12,894	100.0	7.269	100.0	2.361	100.0	2,688	100.0	572,783.7	56.3	7,996	100.0
	沖縄	6,392.3	0.63	3,988.4	0.39	2,480.2	0.24	2,853	63.3	1,774	121.2	6,666	51.7	4.159	57.2	2.586	109.6	2,809	104.5	3,988.4	62.3	4,572	57.2
計	全国	1,207,867.0	100.0	718,460.1	59.5	323,730.1	26.8	5,654	100.0	2,548	45.1	15,328	100.0	9.117	100.0	4.108	100.0	3,196	100.0	681,189	56.4	9,505	100.0
	沖縄	7,976.2	0.66	5,482.2	0.45	3,921.8	0.32	3,921	69.4	2,805	110.1	8,317	54.3	5.717	62.7	4.089	99.5	3,504	109.7	5,075.1	63.6	5,705	60.0
沖縄シェア			0.7		0.8		1.2														0.7		

(注) 各数値は、単位未満を四捨五入したため、数値が合致しない場合がある。全国面積377,947km²、沖縄2,276km²、全国総人口127,076千人、沖縄1,398千人、全国自動車台数78,081千台、沖縄959千台である。
 改良済延長で国道、県道は幅員5.5m以上、市町村道は5.5m未満を含む。舗装済延長は簡易舗装除きである。

●道路延長

本県は、陸上交通のほとんどを道路に依存していることから、道路整備が県民生活や産業活動に与える影響は極めて大きく、重点的に整備を推進しています。

しかし人口、自動車台数当たりの道路延長は全国平均の約6割程度と低く、増加する交通需要や高速性、快適性等高度化、多様化する利用者のニーズに対応するには、なお一層の体系的な整備とその質的向上が必要です。



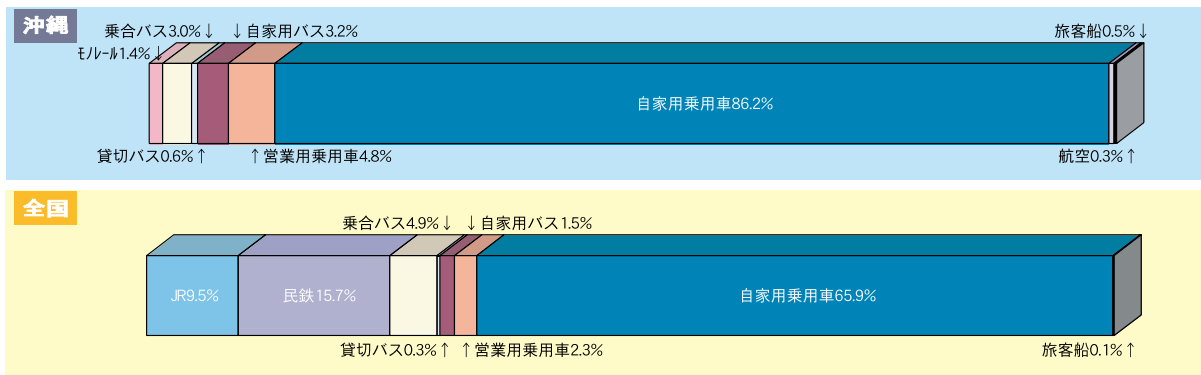
注) 高速自動車国道を含む全道路延長

資料：道路統計年報(2010年度版)

1. 機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)

全国では、全旅客輸送(域内)のうち約3割を鉄道で分担していますが、本県では、陸上交通のほとんどを道路に依存しており、その役割は重要です。

特に自家用の分担率は年々上昇を続け、平成20年度には約9割となっています。



資料：「平成20年度 旅客地域流動調査」

2. 自動車保有台数

県内の自動車保有台数は年々上昇を続け、復帰時の昭和47年度に比べ、平成21年度末には約4.9倍となり、一世帯に1.7台になりました。

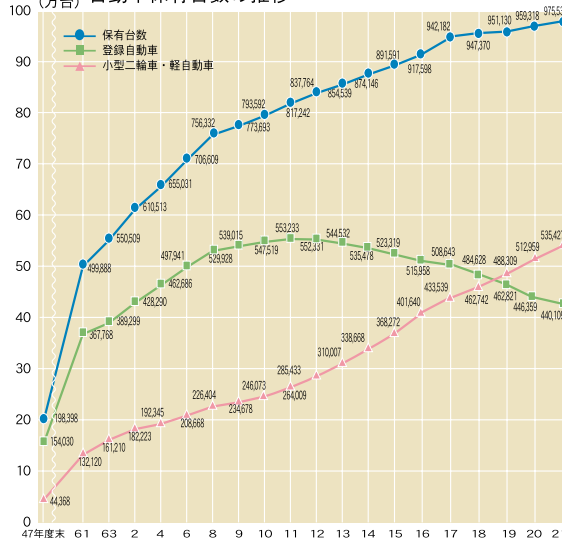
■ 自動車三輪以上の保有率

項目	S47年度末	H21年度末	伸び率
自動車保有台数 (千台)	198	976	4.93
人口 (千人)	981	1,406	1.43
世帯数 (千世帯)	237	560	2.36
人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.69	3.44
一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.84	1.74	2.09
自動車保有台数 (千台)	75,024	348,000	4.64
人口 (千人)	107,332	127,058	1.18
世帯数 (千世帯)	29,577	53,363	1.80
人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.59	2.94
一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.73	1.41	1.93

資料：1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成22年3月31日現在)」による。

2. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2010年6月号)」による。

自動車保有台数の推移

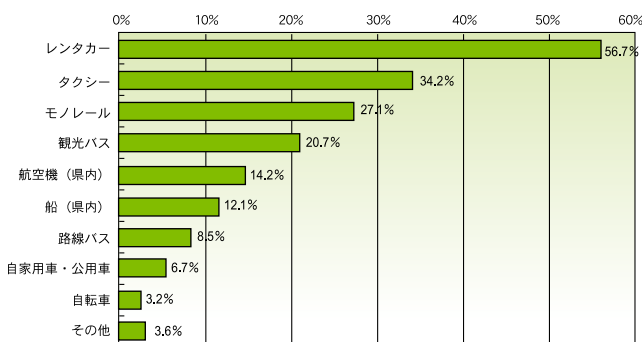


(注)：各年度末の数値である。
資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成22年度版)」

3. レンタカーの状況

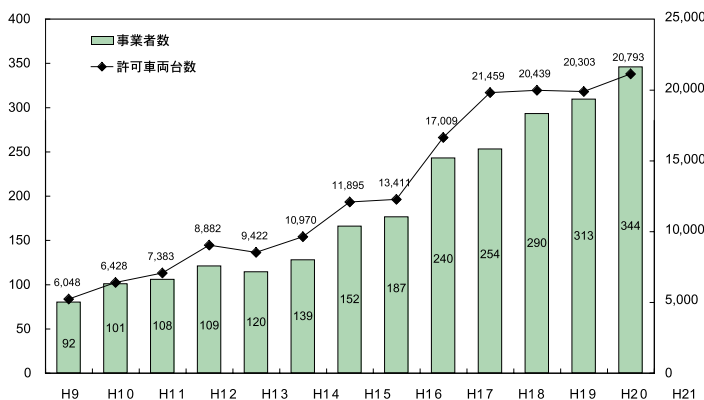
沖縄を訪れた観光客の移動手段はレンタカーが最も多く、また、レンタカー事業所の推移を見ると毎年増加傾向にあり、平成21年度には344事業所(営業所含む)、許可車両台数20,793台となっています。平成9年度と比べて比較すると、事業所数で3.7倍(252事業所増)、車両台数で3.4倍(14,750台増)となっています。

■ 利用交通機関



資料：平成22年度 観光統計実態調査

レンタカー事業所数及び許可車両台数の推移



資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成22年度版)」

4.交通量 (平成17年度道路交通センサスより)

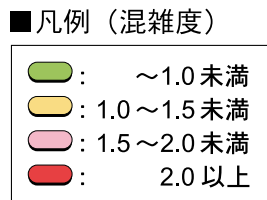
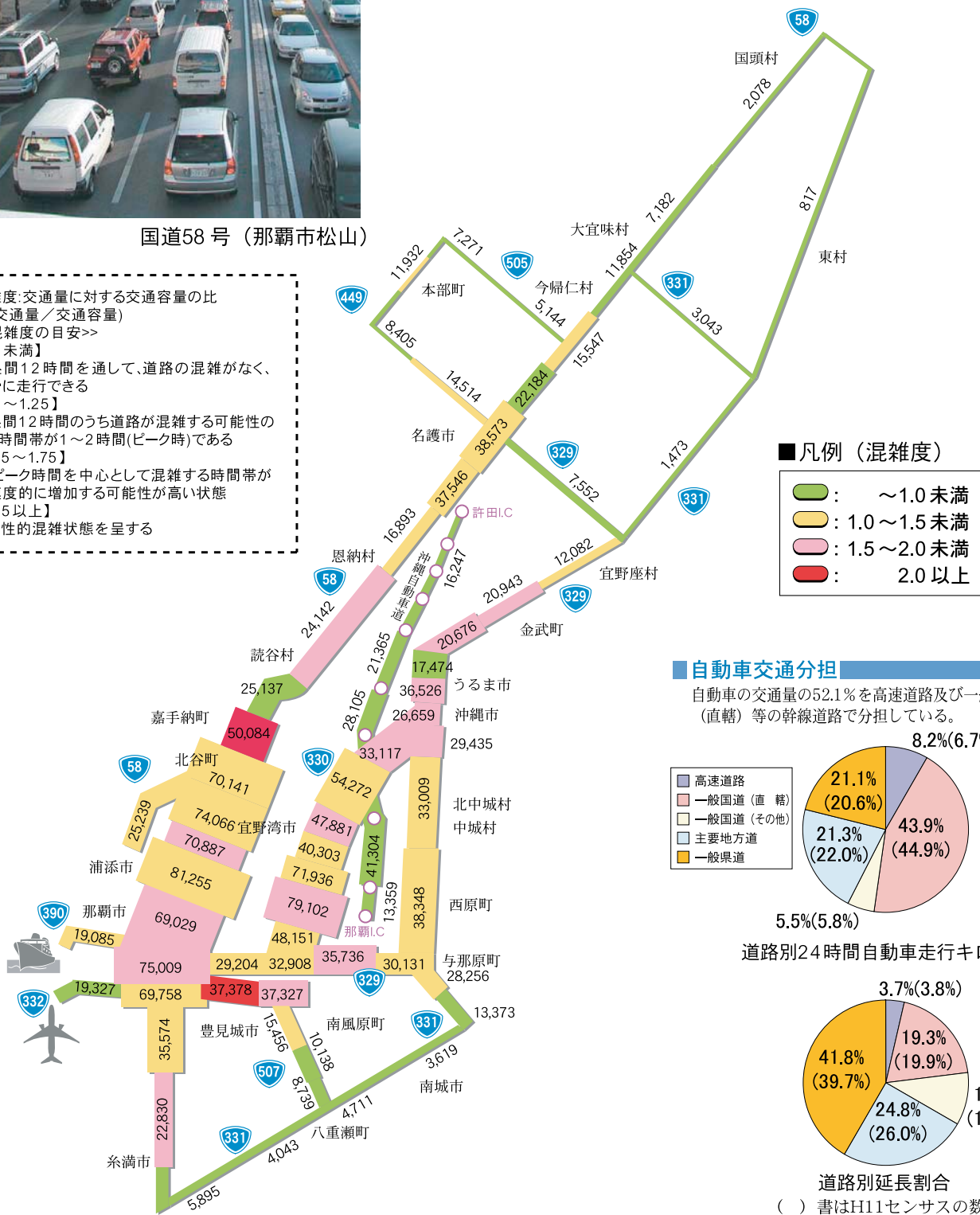


国道58号 (那覇市松山)

沖縄本島における幹線道路の交通量は図示の状況です。
 那覇市を中心とする中南部で多くなっており、混雑度も高く道路網や交通容量の不足が原因と思われる交通渋滞が発生しています。
 また、休日でも主要観光地周辺の交通量は、平日を上回っています。
 (数値は平日24時間交通量)

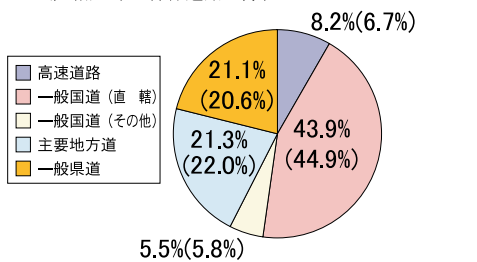
交通の状況

混雑度:交通量に対する交通容量の比
 (=交通量/交通容量)
 <<混雑度の目安>>
 【1.0未満】
 昼間12時間を通して、道路の混雑がなく、円滑に走行できる
 【1.0~1.25】
 昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時)である
 【1.25~1.75】
 ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態
 【1.75以上】
 慢性的混雑状態を呈する

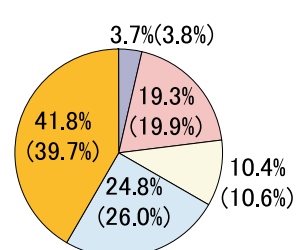


自動車交通分担

自動車の交通量の52.1%を高速道路及び一般国道(直轄)等の幹線道路で分担している。



道路別24時間自動車走行キロ割合



道路別延長割合
 () 書はH11センサスの数値

5.渋滞状況

渋滞

全国ワースト6位、3大都市圏以外では最も大きい渋滞損失時間

沖縄県の1kmあたり渋滞損失時間は 4.1万人時間/年・kmと、全国平均の2倍以上で、全国ワースト6位の低水準となっています。これは、3大都市圏以外では最も大きい値であり、全国的に見ても渋滞が著しい地域と言えます。

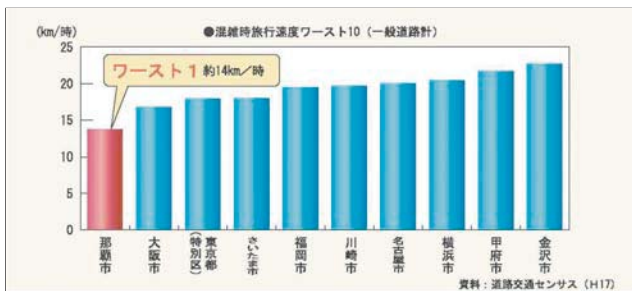


表 1kmあたり渋滞損失時間ワースト地域（H14）

都道府県	1kmあたり渋滞損失時間 (万人時間/年・km)
1 東京都	13.7
2 大阪府	10.8
3 神奈川県	7.6
4 埼玉県	5.4
5 愛知県	4.9
6 沖縄県	4.1
7 千葉県	4.1
8 宮城県	3.6
9 静岡県	3.4
10 京都府	3.2
全国平均	2.0

資料：国土交通省資料

管内における1kmあたり渋滞損失時間ワースト区間

国道58号那覇～北谷において、ワースト10区間中6区間が分布し、特に渋滞が著しい

センサス区間別1kmあたり渋滞損失時間の状況では国道58号において、県内ワースト10区間中6区間を占め、那覇市(1021～23)や浦添市(1019～20)、北谷町区間(1016)にて高まりを見せ、また、国道330号ひめゆり通り(1053)や、国際通り周辺(6041～42)、県庁前交差点(6044)においても著しい状況となっています。

センサス区間別1kmあたり渋滞損失時間（H17）

順位	路線名	センサス番号	地点名	1kmあたり渋滞損失時間 (時間/年・km)
1	国道58号	1023	那覇市旭町	2,060,192
2	国道58号	1022	那覇市久茂地2丁目	1,222,195
3	県道42号線	6044	那覇市久茂地1丁目	912,660
4	県道39号線	6042	那覇市字安里	903,685
5	国道330号	1053	那覇市与儀	893,270
6	国道58号	1021	那覇市字天久	763,765
7	国道58号	1016	北谷町字桑江	675,020
8	国道58号	1019	浦添市牧港1丁目	613,620
9	国道58号	1020	浦添市字勢理客	598,457
10	県道39号線	6041	那覇市字松尾	596,156

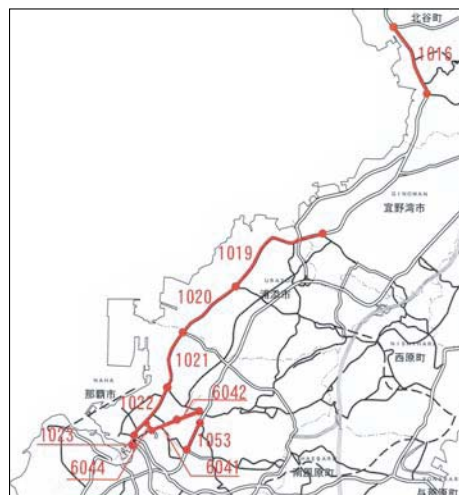


図 センサス区間別1kmあたり渋滞損失時間ワースト10区間位置

管内における混雑時旅行速度ワースト区間

117区間が全国直轄国道“DID地区”における混雑時旅行速度の平均以下となっています。

表：沿道状況別平均混雑時旅行速度

沿道状況	混雑時旅行速度(km/h)
D I D	21.0
その他市街部	30.3
平地部	38.6
山地部	39.2
計	35.3

参考：H17道路交通センサス

ワースト順位	路線名	センサス番号	混雑時旅行速度(km/h)	ワースト順位	路線名	センサス番号	混雑時旅行速度(km/h)
1	国道390号	1083	2.8	11	真地久茂地線	6100	7.3
2	那覇内環状線	6097	3.5	12	那覇糸満線	4059	7.5
3	県道39号線	76039	5.0	13	那覇北中城線	4021	7.6
4	南風原与那原線	16113	5.6	14	県道39号線	6040	7.6
5	那覇北中城線	4016	5.8	15	県道46号線	6046	8.1
6	県道28号線	6026	5.9	16	国道507号	1097	8.4
7	那覇糸満線	4060	6.3	17	県道39号線	6041	8.4
8	国道330号	1053	7.1	18	国道331号	1055	8.5
9	那覇北中城線	4017	7.1	19	県道42号線	6043	9.1
10	県道54号線	6055	7.3	20	那覇内環状線	6098	9.8